

令和八年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・書道 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

- 一 この問題は七問五ページで、時間は六十分です。
- 二 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 三 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 四 「やめ」の合図があつたら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 五 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 書道

一 次の(一)～(五)に答えよ。

- (一)「背勢」とは何か説明せよ。
- (二)「波磔」とは何か説明せよ。
- (三)「藏鋒」とは何か説明せよ。
- (四)「拓本」とは何か説明せよ。
- (五)「半切」とは何センチ×何センチの大きさの紙か記せ。

二 次は、唐の四大家の書の一部を示したものである。後の(一)、(二)に答えよ。

①



②



③



④



(一) ①～④の作者の名前を漢字で記せ。

(二) ①と③の作品名を漢字で記せ。

三

「牛概造像記」に関する(一)～(三)の問いに答えよ。

(一)「牛概造像記」のある石窟の名前を漢字で記せ。

(二)(二)の石窟のある場所はどこか、地図中のA～Dの中から選び、記号で答えよ。ただし、地図は現代のものである。



(三)「牛概造像記」の由来について説明せよ。

四 篆刻に関する次の問いに答えよ。

(一) 篆刻の一般的な作業手順について、次の①～③に入る作業を漢字二字でそれぞれ記せ。

選文・検字 ↓ 印稿作成 ↓ 印面を整える ↓ ① ↓ ② ↓ 押印 ↓ ③ ↓ 完成

(二) (一)の二重傍線部について、印泥を用いて押印する際、鮮明な印影となるようにするために、どのように行うとよいか具体的に記せ。

五 次は、漢字仮名交じりの書の教材を示したものである。後の(一)、(二)に答えよ。

著作者の権利保護のため
掲載を省略

(一) この書の作者の本名を記せ。

(二) この書を教材として扱うこととし、単元名を「言葉と書を調和させて、自分らしい表現を見つけよう」と設定し創作を行う。次の①、②に答えよ。

① この単元において、生徒が主体的に意図に基づいて構想し表現を工夫するために、どのような授業のしかけが考えられるか、具体的に記せ。

② 表現の幅を広げるためICTを活用したい。具体的にどのような方法が考えられるか記せ。なお、対話的な活動の場面を含めること。

六

次の(一)、(二)に答えよ。

(一) 次は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)「第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第10 書道I」の「1 目標」の一部である。①～⑤にあてはまることをばを記せ。なお、同じ番号には同じことばが入るものとする。

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、(①)や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 書の表現の方法や形式、(②)などについて幅広く理解するとともに、(③)の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

(2) 書の高さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や(④)を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

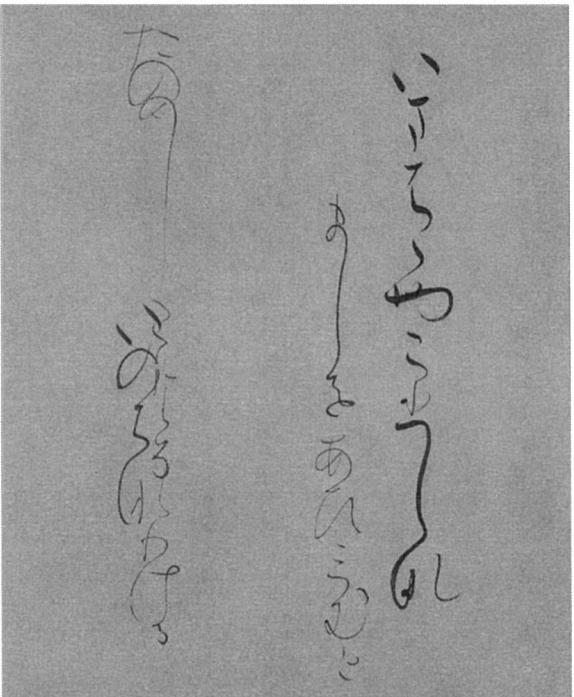
(3) 主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して(⑤)な(①)や社会を創造していく態度を養う。

(二) 高等学校学習指導要領の芸術科書道における「3 内容の取扱い(11)」において、書の伝統と文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう、どのような態度の形成を図るとしているか、記せ。

七

次の(一)、(二)に答えよ。

(一) 次の作品は平安時代に書かれたものである。書道Ⅰの鑑賞教材として一時間の授業を計画する。後の①～③に答えよ。



① 作品名を漢字で記せ。

② あなたが授業を行う場合、この教材において生徒の思考・判断のよりどころとなる書を構成する要素をどのように設定するか、表現効果や風趣との関わりとともに記せ。

③ ②に基づいて、全一時間の授業の流れを記せ。

(二) 書道Ⅰにおいて、「漢字の書」を題材とした単元を計画する。次の①～③に答えよ。

① あなたが表現と鑑賞を関わらせた授業を行う場合、どのような教材を設定するか、理由とともに記せ。

② ①に基づき、単元の評価規準を記せ。その際、三つの観点で作成することとする。

③ ②に基づき、学習状況を観点別に評価する場合、どのように行うか記せ。

受検番号

氏名

※

切り取らないこと

令和八年度採用

山梨県公立学校教員選考検査

※

高等学校 書道 解答例

15 点
(各 3)

一

(一)	向かい合う縦画が内側に反るように書かれた楷書の字形			
(二)	隸書において、横画の収筆を右に大きくうねらせて払い出す書き方、および右払い			
(三)	起筆における運筆法の一つ。穂先を点画の中に包み込むように運筆する			
(四)	石や金属に刻されたり鑄込まれたりした文字や文様を、墨などを用いて紙に写し取ったもの			
(五)	一三六センチ × 三四センチ			

18 点
(各 3)

二

(一)	① 虞世南	② 欧陽詢	③ 褚遂良	④ 顔真卿
(二)	① 孔子廟堂碑	③ 雁塔聖教序		

8 点
(3, 2, 3)

三

(一)	龍門 石窟	
(二)	C	
(三)	息子の牛櫛の冥福を祈って、母が仏像とその銘文を刻ませたもの	

9 点
(2×3, 3)

四

(一)	① 布字	② 運刀	③ 補刀
(二)	押印の前に紙の表面をなめし、繊維の毛羽立ちを抑える。 印面に印泥をむらなく付け、ゆっくりと水平に下ろして押印する。 印の四隅にもしつかりと圧力をかけて、垂直に引き上げる。		

(裏面に続く)

五

9 点
(各 3)

(一)	作者名…會津八一
(二)	① この書のよさや美しさを他者と話すことで、言葉の内容と表現意図について多様な事例を知るとともに、主体的に考えるよう導く。 ② ICTを活用して紙面構成をシミュレーションし、複数の案を作成する。グループでそれぞれの案を批評し合い、どの表現が自分らしい表現か考える。

六

18 点
(各 3)

(一)	① 生活	② 多様性	③ 書写能力	④ 価値	⑤ 心豊か
(二)	自己や他者の著作物及びそれらの著作者の創造性を尊重する態度				

七

23 点
(3, 4×5)

(一)	① 升色紙
(二)	② 紙面に思い切って大きな空間を設けたり、重ね書きを用いたりするなど、大胆な構成により、立体感のある作品になっているため、紙面構成をよりどころとする。 ③ これまで学習した高野切や蓬萊切などとの比較をすることで、散らし書きの特徴を理解する。 ↓三色紙の中での升色紙の特徴を捉え、よさや美しさを味わう。 ↓現代の書家による古筆を活かした諸作品を鑑賞し、和歌や自詠の句・短歌の散らし書きを構想する活動につなげる。
(二)	① 蘭亭序を教材とする。 古来より行書の手本として高く評価されており、前後の文字や筆脈の中で、同じ字でもさまざまな姿に変化することから、筆脈によって生み出される多様な字形を鑑賞することで、行書の導入に用いることができる。 ② 知識・技能…用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解し、古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。 思考・判断・表現…古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 主体的に学習に取り組む態度…主体的に漢字の書の幅広い表現および鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 ③ ワークシート、活動の様子、作品を用いて評価する。それぞれの観点で指導に生かす評価の場面を設定し、適宜生徒への指導に生かすとともに、指導の改善に生かし、記録に残す評価の場面を単元のまとまりで総括する。